

アンケート集計結果
(WEB掲載)

日本薬学会 第39回創薬セミナー



日時:2024年7月10日(水)～12日(金)
会場:メルキュール長野松代リゾート&スパ(長野県長野市)
主催:公益社団法人 日本薬学会 創薬セミナー委員会

目次

I. 全般アンケート結果……………P.3～5

1. 今回のプログラムに関するご意見
2. 次回プログラムに関するご希望
3. 希望する新企画について

II. 自由討論会アンケート結果…………… P.6～8

4. グループ分けについてのご意見
5. 討論についてのご意見
6. 今後のテーマについてのご意見

III. 創薬相談会アンケート結果…………… P.9

7. ご感想

以上

I . 全般アンケート結果 (1. 今回のプログラムに関するご意見)

- 貴重な内容の講演を聴くことができ、勉強になった。実際に社内に持ち帰る、活用したいと思えるような内容もあり、ためになった。
- バイオロジーの視点からみると、非常に勉強になる演題ばかりでした。メドケムの講演を聴講する機会がほとんどないため、理解が及ぶか不安ではあったが、演者の先生方の丁寧な説明もあり学びの多いセミナーだったと思います。
- 様々な分野の先生の講演を聴くことができ、非常に勉強になりました。
- 講演者の中に新しい会社の方がいて、異なる視点で創薬に貢献できるのを見て興味深いと感じた。社長講演も興味深いと感じた。
- 適度に様々な分野のプログラムが用意されており、勉強になった。
- メドケムにとっては非常に濃く有意義な内容でした。
- 製薬企業だけにとどまらず、ベンチャーや厚労省の方のレクチャーがあり興味深く拝聴させていただきました。久しぶりに参加させていただきましたが、熱量がすごい良い機会だと思いました。
- 創薬の成功事例、最新の創薬技術が聞くことができとても良かった。
- AI、メドケム、社長講演と創薬に関わる多くの側面からのお話を聞くことができ、仕事の意味、どのようなモチベーションで仕事をしていくのかを再考する良いきっかけになった。今回のようなプログラムを今後も続けて欲しい。
- 講演時間が長めに設定されており、演者の方々も基礎的な部分から説明してくださったので、非常にわかりやすい内容でした。
- クローズドな会ということもあり、普段はあまり聞けないような内容も多く、非常に良かった。
- 普段聞けない話を聞け非常に鼓舞される内容であった。AIからモダリティ、社長講演まで幅広く見識が広がった。
- 講演の内容が様々で面白かった。研究の話だけでなく、厚労省の方のお話のように全く普段意識していない視点で創薬を考えられたのが新鮮だった。自分自身はメディカルケミストなので、メドケム視点の内容が多く面白かったが、もう少し薬理寄りの内容があってもよいのではと思った。
- 様々な化学におけるアプローチがありとても勉強になった。また化学と生物、AIについて同じくらいの分量でプログラムを組めば参加者も様々な分野が着て交流が深まると考えた。
- アカデミア所属です。日頃と異なる方々と意見交換ができて有益でした。
- 普段の学会と異なり、企業研究者が大半であり、交流ができたのは得難い経験となりました。
- 産学官全ての分野の方のお話が伺えて良かった。
- 満足しております。自身の専門がメドケムであり、トレンドが反映されていると感じました。
- 低中分子に関する演題が多く、とても良かった。厚労省の発表は普段考えない視点からの情報が多く面白かった。
- 幅広い分野のお話が聞くことができ、満足です。
- 政府系～AI創薬まで多様な講演が続き、非常に満足いたしました。
- メドケム、医療、*in silico*など様々な演題があったため、異分野の内容を知るこ素晴らしかった。ありがとうございます。
- 幅広いお話をお伺いすることができ、よかったです。
- 素晴らしく勉強になる内容でした。
- メドケム、医療、*in silico*など様々な演題があったため、異分野の内容を知ることができ、実りある会だと感じた。

I. 全般アンケート結果(2. 次回プログラムに関するご希望)

- ADC関連について
- RNA、核酸、RadioactiveTherapyなど
- 低分子創薬（国内外問わず）
- VCから見る製薬会社についてなど
- 再生・細胞医療、遺伝子治療
- 主合成研究（もしあればSAR研究）
- 核酸の創薬について、CDMOの方をおよびしても面白い。
- 核酸医薬に関する発表
- 中外の抗体の話、PPI創薬、脳へのタンパク送達。
- 核酸やADCなどのモダリティやアカデミア創薬の話がもっと聞けると良い。
- 多様なモダリティの創薬、新規技術に関する話題
- 新しいモダリティと新しい低分子（技術・ターゲット）をバランス良くしたい（今回と同様に）今回はなかった核酸医薬（RNA創薬メドケム目線）、外資（海外）
- 創薬で工夫した点などを聞きたいです。
- 実際にAIソフトを使った側の演題も聞いてみたい。
- AI創薬。AIの活用
- AI創薬のパーツも含まれていただきたいです。
- メドケムの具体的な実践例
- 専門以外でも勉強になる内容にて、みなさんの知識の底上げになるものを期待しています。
- 大手企業よりは、特定の技術を持つアカデミアやベンチャーの講演をたくさん聞きたい。
- バイオロジーに寄った内容についても伺いたい。エンハーツ、ベオーザ、パドセブ、ロナプリーブ、ゾコーバの開発の流れを聞いてみたい。
- ビジョンケア、ケイファーマなどアカデミア発ベンチャーの話など
- ペプチドリームやカルナバイオなど、プラットフォーム型のスタートアップ製薬メーカー
- ラボオートメーション、エクスフォレストのようなプラットフォームに強みのあるスタートアップ
- AI創薬だけでなく、計算科学や構造科学などの分野も含めてほしい。*in silico*創薬の話を増やしてほしい。
- DELの話を知りたいです。
- 今回のような内容の継続していただきたいです。

I . 全般アンケート結果 (3. 希望する新企画について)

- 情報交換の場をセミナー主導で開いてくれるのがありがたい。例えば事前アンケートでこの分野の人・会社での希望を聞き、何人かのグループで情報交換できるセッティングをしていただけたらありがたい。
- 似たような業務内容の人を集めた交流会。
- 現企画で満足している。
- レクリエーション。
- 創薬PJ推進体験：メドケム、薬理などで混合グループを作って、PJ推進の疑似体験を行う。
- 他社での創薬の取り組みなど興味があります。
- 核酸医薬などの話を聞いてみたい。
- 患者（会）との接点を持てる企画。できればそのKOLとなる医師も。企業として注力できない疾患でも議論や患者の思いは参考になると思う。
- 「特定の目的」でコンソーシアムをつくってみよう、というワークショップ。
- 特定の創薬技術に関する相談会、特に発表者の先生を含めて。
- ケミストが他の部署（薬理動態など）に求めることを伺ってみたい。
- SAR中のケーススタディ的なものでしょうか。会社の評価ツールやアプローチが見えて面白いかもと思いました。
- 企業とアカデミア、ベンチャーとのマッチングみたいなイベント。
- エクソソーム、ニューモダリティの講演をもっと聴きたい。
- パネルディスカッション。もちろん難しいことは理解しているが、あえて挑戦して欲しい。本会では、例えば「創薬力」など。
- 以前はエクスカッションがあった気がします、復活させてはどうでしょうか。

Ⅱ. 自由討論会アンケート結果(4. グループ分けについてのご意見)

- 多様な学区グラウンドを有する方々がグループにおり、多様な角度から意見交換されており、大いに勉強になりました。
- 多様な専門性、所属の方が集まっており、各々の視点からアンメットメディカルニーズのとらえ方を議論できたので非常に良かった。
- 幅広い部門の方々が集まっていたので、よかった。
- 細かくグループを設定いただいたので、希望のディスカッションができたので良かったです。
- 専門が違う方が同じグループにいて、ケミスト・バイオロジー両面でディスカッションできて良かったです。
- 年次や分野が違う研究者が集まっていて良かった。
- 一人薬理が専門の方がいたが、違った視点からの意見を聞くことができたので、良かったと思います。会社が被らないようにしていただいたので、各社の違いが分かって良かったです。
- ほとんどがケミストで、私一人薬理についていけないところもあったが、ケミストの考え方や研究の進め方について伺えて勉強になった。研究分野でグループをばらけさせた方が互いに勉強になる点が多いと感じた。
- バックグラウンドがケミストリーだけでなく、バイオロジーの方もいたことから、幅広い視座で次世代低分子創薬技術について考えることができ、良かったと思う。
- 参加企業がほぼばらけていたので、様々な意見・コメントを聞くことができ、良かった。人数も多すぎず、少なすぎずよいと思う。
- AI・*in silico*に直接関わっている人、これから行っていきたいと思う人がどちらもいたため、バランスの良い議論ができたと感じた。
- 特に具体的な議題を決めず、互いに相談しあうのは良いと思った。
- 各社のリード化合物の設定のやり方、リードオブティマイゼーションにおいて考えることを良く理解できた。
- 他の企業の方とお話できて大変勉強になりました。
- 事前に討論内容の希望をメールで送っていたので、発言がなくなってきたタイミングでファシリテーターの方が振ってくれて良かったと感じた。
- 若手の方が多く、似たような立場、視線で話ができ良かったです。マネージャークラスの方もいて、上の立場から見た若手への期待を知ることができたのも良かったです。
- グループ内に様々な企業の方がおられて、適切なグループ分けだったと思います。

Ⅱ. 自由討論会アンケート結果(5. 討論についてのご意見)

- 大きなテーマは決まっているものの、結論を出すことが求められている討論会ではなかったため、画一的な結論に議論が向かう必要もなく、自由に意見交換が行えて楽しむことができた。
- 特に具体的な議題を決めず、互いに相談しあうのは良いと思った。
- 各社のリード化合物の設定のやり方、リードオブティマイゼーションにおいて考えることを良く理解できた。
- 他の企業の方とお話ができて大変勉強になりました。
- ファシリテーターの方がスムーズに進行してくださって、あっという間の2時間でした。できればもう一人くらい製薬会社で長く研究されている方がグループにいたら良かったかなと思いました。全体的に非常に満足しています。
- どの企業でのターゲット探索に苦労している。正解が分からないということを知れたので良かった。また他社でテーマ提案に対してどのような考えで基準を設けているのか、どのような取り組みを行っているかを少しでも知れた。自身の仕事にうまく反映できると良いと感じた。
- 実際には聞きたいことを聞けたかと言われると、話が逸れることも多かったが自分では絶対に考えつかないようなアイデアや手法を考えることができて、お金があれば（なくても）無限の可能性もあるなと思った。
- クローズな場ということで、通常話せないような各々の悩み等を共有できました。個人的にも今後の研究活動で発生しうる状況に対するヒントを得られました。
- 1つの正解（解はないと思うが…）を導くのではなく、次世代低分子創薬について向かうべき（向かいたい）方向性を考えることができ、生産性のある討論ができたと思う。自分と違う視点で考える複数の研究員の話を知ることができ、今後の研究活動にフィードバックできることが多い討論であった。
- AIの活用法などの技術に関する議論から、疾患ドリブン、技術ドリブンのいずれかの方が良いか、および各社がどのような考え方で進めているかの部分について話が伺えて良かった。
- それぞれのバックグラウンドや研究状況、興味について情報交換できて良かった。
- ファシリテーションが素晴らしく、有意義な時間だった。メモ禁止・クローズドな場という設定も良かったと思う。
- サイエンスの話から創薬に取り組むマインドの話まで、ゆったりと議論できて良かったです。
- 事前に参加者がディスカッションしたい点のアンケートがあり、それを踏まえた討論がなされ、効果的なディスカッションができたと感じています。
- ファシリテーターにホワイトボードで見える化していただいたので、とてもやりやすかった。ファシリテーターの明るいキャラクターで参加者の意見をうまく引き出していた。ありがとうございました。
- ファシリテーターの方が都度、適切な相打ち、意見のまとめ、あまり話せていない人への話題振り、話題の転換などをしてくださり、無言の時間がなかった。和やかな雰囲気でした。

Ⅱ. 自由討論会アンケート結果 (6. 今後のテーマについてのご意見)

- 創薬Specificとともに創薬基盤のHuman Biologyと適応および動的状態で見べきなので、それを考慮しての選択。
- 特定の論文で創薬技術についてのテーマがあってもいいと思った、
- AIを使用した創薬加速・効率化について議論してみたいと思いました。
- 討論前はテーマがやや抽象的すぎるため、どの方向に話が進むのかやや心配はあったが、結果的に思いがけないアイデアの発見や有意義な議論となった。運営ありがとうございました。
- キャリアプラン、設計なども話してみたい。
- 会社で取り組んではいないが、興味のある疾患や日本の医薬品産業のあるべき姿についても話してみたいです。
- トランスレーショナル分野、例えばバイオマーカーに関する討論を、様々なバックグラウンドのメンバーでしてみたいと思いました。
- 低分子化合物の将来戦略はテーマとして続けてほしい。重要な課題だと思います。
- 例えば、低分子創薬技術の中でもモダリティに関することや、Hit取得に関することや、より細分化されたことに関してざっくりと議論できても面白いと思う。今回はtimelyで良かったと思う。あまり固めすぎるとディスカッションが広がらないので、今回くらいのざっくりしたテーマ設定が良い。今後はよりAI関連が増えると思うので、AIはMust。他に日本の強さを活かすためのテーマの取り上げも必要かもしれない。
- 新規技術、テーマ設定、有用な手法。
- 候補品の選抜基準や目標設定とか。
- 今回参加したニューモダリティのテーマについては、今後もHotなtopicになると思うので、是非継続してほしいです。
- 分析系のテーマ。
- 自動合成、合成効率化のようなテーマ。
- AI・insilicoは今後も盛り上がるテーマだと思う。アカデミア・スタートアップとの関わりも面白くなってくると思う。
- 今回のテーマをベースに、研究の潮流の変化にあわせて追加するのもありだと思いました。
- キャリアについて、社を超えて話す機会は貴重だと思うので、ぜひ残していただきたいです。
- 役職定年後のキャリア形成、CROの活用方法、共同研究のあり方、DXの推進、市場性・事業性評価。
- 個人的はキャリアについて、他社の方と話す機会はほぼないので、次回もキャリアパスは残してほしいです。

Ⅲ. 創薬相談会アンケート結果(7. 参加された方のご感想)

- クローズドな場ということで、アドバイザーの方の会社の内情を踏まえご助言を頂けたのでとても勉強になりました。
- 今度の進路や方向性が見えてきたような気がします。
- 大変有意義な時間でした。
- 30分という短い時間でいたが、交流会では出会えなかった近い専門の方とお話できた貴重でした。他社での近い部門や立ち位置や研究内容、キャリアパスなどについて、自分の将来を考えるきっかけとなりました。具体的に創薬に関する相談事項があったわけではないのですが、有意義な時間で希望して良かったと思います。
- 文献情報などで我々が過信していた内容を正すことができました。経験が多い他社の方とマンツーマンで話すことができるのは、とても良いと思いました、あつという間に30分が終わってしまいました。
- 現在行っている研究のアドバイスから今後のキャリアについてご意見をいただき、とても有意義な時間を過ごせました。研究については、ご経験豊富な先生の視点から適格なアドバイスを多くいただき、今度の研究方針を決める上でとても役に立ちました。また研究を加速するためには、大型研究費を獲得すべきとのアドバイスを受け、モチベーションの向上にも繋がりました。
- 事前のアンケートである程度ヒアリングをしていただいたので、相談内容が多く取れてよかった。
- 自分の悩みにマッチした方をアサインしていただき、有益なアドバイスがもらえた。
- 会社の人には少し相談しにくいセンシティブな内容も親身に相談に乗っていただいた。
- 是非今後も続けてほしい、今回のセミナー全体で最も有意義な時間でした。
- 他社の方に自分のキャリアを相談する機会はなかったので、大変有意義な時間を過ごせました。
- 有意義な30分になったと思います。3年目の社会人として今までの自社の方の考え方を知っていただき、他社の方のマインドセットを知る機会を作って頂いて誠にありがとうございます。
- 有意義な時間を過ごせました。特に具体的な困りごとや悩みはありませんでしたが、他社の研究員の方と2人でゆっくり雑談できたことはとても良い機会でした。
- 自分の研究の中で困っていること、分からないことを専門の方から具体的なアイデアを頂くことができました。
- 他社・アカデミアの研究者とここまでコミュニケーションが取れる機会は貴重だと感じた。構成内容も多岐に渡る先進的な取り組みや創薬研究に関して、触れる契機となった。大いに刺激を受け、有意義な時間を過ごすことができました。今後の研究に活かしていきたい。
- 自分の中で悩みが解決できた。
- 自分のバックグラウンドや分野に関わりのある方が相談に乗ってくださったので、大変ためになる時間が過ごせました。

ありがとうございました。